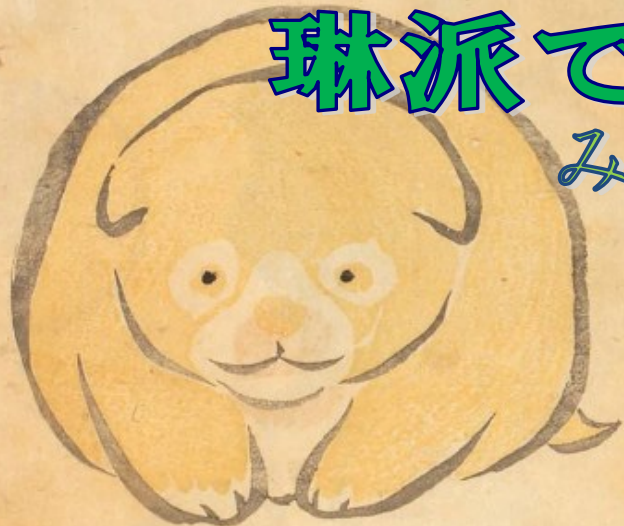


琳派でつながる一日

みんなで話す、聞く、作る



現在開催中の小展示「浪花の琳派 中村芳中」
にあわせて、たっぷり時間をかけて琳派にひたる
イベントを開催します。ご参加ください。

2016年
3月19日(土)
13時~17時
開催

一 ワールドカフェ

みんなで琳派を話そう

二 講演

「中村芳中 くおもしろ・かわいい琳派の画家」
福井麻純さん（細見美術館 主任学芸員）

三 ワークショップ

オリジナル琳派和本を作ろう



イベントごとに申込みができます。
開始予定時間
一 ワールドカフェ 十三時から
二 講演会 十四時三〇分から
三 和本作成 十五時四十分から
進行により前後することがあります

小展示「浪花の琳派 中村芳中」開催中
■ 期間 2016年3月31日まで
■ 場所 中之島図書館 3階 大阪資料・古典籍室

会場：大阪府立中之島図書館 別館 2階 講義室
参加費：500円（当日受付でお支払いください）
定員：50名
申込：事前申込制

- ① ちらし裏面の申込用紙に必要事項を記入してファクシミリで送信（直接中之島図書館 大阪資料・古典籍室にお持ちいただいても結構です）
 - ② ホームページから申込
- <http://www.library.pref.osaka.jp/site/osaka/rinpa20160319.html>

図書館の入口とは別の入口です。
ご注意ください。（右図）



詳細は裏面をご覧ください。

琳派とは、

光琳派とも言われ、江戸時代初期の絵師本阿弥光悦を始まりとし、その意匠や作風を俵屋宗達、尾形光琳らに代表される絵師たちが継承し、長い年月をかけて発展していった画風、作風のこと。主な、琳派と呼ばれる人たちは、本阿弥光悦、俵屋宗

達、俵屋宗雪、喜多川相説、尾形光琳、尾形乾山、渡辺始興、深江芦舟、中村芳中、酒井抱一、神坂雪佳などがあげられます。琳派は工芸作品などもありますが、今回は絵画に限定させていただきます。

1 ワールド・カフェ 琳派をみんなで話そう

ワールド・カフェとは、参加者がリラックスしてオープンに話し合い

を行えるよう、主体性と創造性を高める話し合いのエッセンスを抽出してまとめた会話形式

です。自由に、自分の意見を否定されず尊重される場で、相手の意見を聞き、メンバーの組み合わせを変えながら、少人数のグループで話し合いをおこないます。今回のワールド・カフェは、グループでの活動を始めるにあたり、協力して1日を過ごせるような、イントロダクションとして、みんなの好きな琳派の作品や楽しい展示方法についてトークします。(文章参考:ワールド・カフェ・ネット ワールド・カフェとは)



2 講演 「中村芳中 ～おもしろ・かわいい琳派の画家～」

福井麻純さん (細見美術館 主任学芸員)

江戸時代後期に大坂を中心に活躍した琳派の画家・中村芳中。近年、そのおおらかな作風に注目が集まっています。芳中のユーモラスな作品の数々やその特徴について、大坂や俳諧といった視点も交え、中村芳中研究の第一人者である福井麻純さんがご案内します。



3 ワークショップ オリジナル琳派和本を作ろう

芳中をはじめとする琳派の作品でオリジナル和本を作成します。基本的な素材(表紙・見返し・表紙の芯・本紙(ページ10枚分程度の洋紙)など)は当館で用意します。

みなさまのご協力をお願いします。

お持ちください (図書館で数を用意できません) ・縫い針 (ご家庭でお使いのもの) ・糊 (市販の水糊等)
できればお持ちください ・お飲み物 ・糸 (絹糸・色自由やや太めが適) ・糸通し ・千枚通し (キリ)
お好みでお持ちください ・表紙 (お好きなデザインでA4、もしくはA4よりやや大きいサイズ) ・和本で綴じたい紙 (自分でデザインした紙 カレンダー、スケジュールなど 大きさはB4二つ折り)

大阪府立中之島図書館 「琳派でつながる一日 みんなで話す、聞く、作る」

参加申込用紙 FAX: 06-6203-0473

(フリガナ)			
名前	前	住所	〒
電話番号		ファクシミリ番号	
メールアドレス	@		
ワールド・カフェ参加の方はご記入ください	お気に入りの琳派画家		お気に入りの琳派画家の作品名

※琳派画家、作品名はワールド・カフェのグループ分けに使用します。

※申込書に記入された個人情報は本講座実施時の連絡資料としてのみ使用します。

※受講決定の有無につきましては、eメール、ファクシミリまたは電話でお知らせします。

※お申込みから1週間たっても連絡がなければ、ちらし表側のお問い合わせ先へご確認ください。

参加申込イベントを選択できます。○をつけてください。 ・ワールド・カフェ ・講演 ・和本作成